

報道関係各位

2017年1月17日

インターネットと繋がるドアロック「RemoteLock」、本日販売開始 ～ 鍵の開け閉め・暗証番号の設定を、いつでも、どこからでも ～

- 鍵を持たずに外出でき、鍵のかけ忘れも外出先から確認可能
- クラウドから異なる暗証番号を発行するだけで、面倒な鍵の受け渡しが一切不要
- 暗証番号をクラウドで設定、ネットを通じて鍵の開け閉めを遠隔操作
- 暗証番号を入力して解錠するとメールで自動通知し、いつ誰が入ったかクラウド上で履歴を管理
- 個別の建物はもちろん、複数の施設のセキュリティも遠隔地から一元管理しやすい
- Wi-Fi 接続および電池式のため、ケーブルの設置が不要

株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長：服部正太）は、LockState 社（本社：米国コロラド州、CEO：Nolan Mondrow）が開発した Wi-Fi 型スマートロック「RemoteLock」の日本市場での販売を本日より開始いたしました。

「RemoteLock」は Wi-Fi 接続型電子錠（スマートロック）です。管理者向けクラウドシステム「LockState Connect」から、インターネット経由で複数の鍵を一元管理できます。

2011 年のリリース以来、その利便性の高さが世界中のユーザーに支持され、スマートロック先進国の**米国で既に 16,000 件以上のユーザー利用実績**を誇ります。

また、「RemoteLock」の確かな堅牢性と運用実績により、LockState 社は民泊大手の**米国 Airbnb 社の世界でも数少ない Global Partner**として認定されています。

構造計画研究所は、近年、新たに IoT 関連ビジネスを立ち上げ、国内外の有用な IoT 技術を積極的に取り入れ、提案してまいりました。この度、「RemoteLock」の特長が特にビジネスシーン利用に強みを持つと考え、新たに日本での販売を開始することといたしました。当社がこれまで培ってきた様々な構築物における技術とのシナジー効果を見込み、2020 年度には国内での単年度売り上げ 25 億円を目指します。



図 1. 日本で販売する RemoteLock 5i

今後は、有用な IoT デバイス・プラットフォームも合わせてご提案することで、建物の安心・安全はもとより、その建物内で暮らす皆さまの“安全性”と“快適性”の向上を実現いたします。

RemoteLock の詳細資料・ご購入・お見積もりは公式サイトまでお問い合わせください。
<http://remotelock.kke.co.jp/>

発売を記念し、先着 500 個限定で特別価格にてご提供いたします。

■ 特長

- 鍵の受け渡しがクラウドで完結、いつでもどこからでも開け閉め可能

RemoteLock は暗証番号で鍵を開けられます。暗証番号はクラウド上で管理するため、現地に赴いての設定や、鍵の持ち運びは不要です。利用者は受け取った暗証番号を入力するだけで、アプリのインストール等も必要ありません。簡単に利用ができて、鍵の紛失・盗難・複製のリスクが低減されます。

クラウドシステム「LockState Connect」を使えば、外出先からでも鍵がかかっているかの確認や、鍵の開け閉めができ、鍵のかけ忘れで不安になることもありません。「LockState Connect」は暗証番号の有効期間を管理し、履歴管理やメール通知機能を備えています。API を使えば、これらの機能を外部の管理システムやスケジューリングシステムと連携させて使うことも可能です。

クラウドシステム「LockState Connect」を使えば、外出先からでも鍵がかかっているかの確認や、鍵の開け閉めができ、鍵のかけ忘れで不安になることもありません。「LockState Connect」は暗証番号の有効期間を管理し、履歴管理やメール通知機能を備えています。API を使えば、これらの機能を外部の管理システムやスケジューリングシステムと連携させて使うことも可能です。

<例>

- Airbnb のサイトで宿泊先を予約すると、滞在期間限定で利用できる暗証番号が申込者宛てに自動的に送られる

- 暗証番号は即時設定・即時削除可能、複数施設のアクセス権限もクラウドから一元管理
独自の管理者向けクラウドシステム「LockState Connect」上で、アカウントごとのアクセス権限を管理します。多数の「RemoteLock」の権限変更を即座に反映できます。
最大 1,000 ユーザーまたはゲストユーザーのアカウント発行が可能です。

- 解錠を自動メール通知、履歴はクラウドで管理
いつ・どこで・誰が・どの暗証番号で入室したのか、自動的に記録され、解錠時に自動メール通知機能で管理者にお知らせします。暗証番号は、利用シーンとセキュリティ環境によって、4 桁から 10 桁までの間、自由に設定できます。管理者は過去の入退室履歴をクラウドで確認できます。

- API 連携により、他社サービスや他 IoT デバイスとのやり取りを統合管理
「RemoteLock」は、「LockState Connect」の API 連携機能により、様々な IoT デバイスやシステムと連動することができます。施設やオフィス、ご自宅など様々な利用シーンにあわせて、カメラや温度センサー、コンセント等のデバイスや、ユーザーが利用している外部サービス・システムとのやり取りを、クラウド上で統合管理することができます。

<例>

- 「LockState Connect」をプラットフォームとして、Wi-Fi カメラ等の IoT デバイスと「RemoteLock」をまとめて管理する

- Wi-Fi 接続および電池式のため、ケーブルの設置が不要
Wi-Fi によるワイヤレス接続の上、「RemoteLock」は電池駆動のため、LAN ケーブルや電源コード等の配線が不要です。電池の残量はクラウド上で確認でき、電池残量が少なくなるとメールで自動通知する機能も備えています。



■ 利用シーン

【事業者・企業向け】

「LockState Connect」を利用して多様な IoT デバイスの設置・運用が簡単に行えます。不動産の価値向上やビジネスサービスの拡大を支援します。

➤ オフィス・商業ビル

スタッフの入社・退職時の入室権限も即時反映できます。入室許可の期間・時間帯の設定も簡単で、清掃業者やアルバイト等、多数の出入りがあるオフィス環境でのセキュアな運用を実現します。



➤ 賃貸物件

入居者が入れ替わる度に発生していた鍵交換も、暗証番号を変更するだけで、不要になります。また、内見希望者の時間帯だけ利用できる暗証番号を発行することで、管理会社が内見の立会いや鍵の受け渡し等の対応にかかる手間を大きく軽減できます。

➤ 保養・研修施設

遠隔管理により、鍵の受け渡しや利用履歴の管理が簡単にできます。不規則な利用が見込まれる施設で、管理人が常駐する必要がありません。鍵の受け取り・返却が無人化されるため、管理コストを削減しながら、利用者にとっての利便性向上が期待できます。

➤ 宿泊施設

予約と同時に暗証番号がメールで通知されるため、スタッフが鍵の受け渡しを常時対応する必要はありません。海外からの予約者に対しても、宿泊期間限定の暗証番号が発行され、利用にも特別な説明が要らないため、鍵の持ち去りや紛失のリスク、言語の壁を心配することなく、セキュリティ管理ができます。

【個人向け】

➤ 住宅

鍵を持ち歩かなくても良いため、バックから鍵を探し出す手間も省けます。また、鍵のかけ忘れによる空き巣被害の防止や、紛失による締め出しがなくなるほか、暗証番号が知られてしまった場合でも即時に変更が可能のため、強固なセキュリティを実現します。

自動メール通知機能により、ご家族がいつ帰宅したか、離れていてもリアルタイムに知ることができます。



■ 本件に関するお問い合わせ先

・製品、技術関係窓口

株式会社構造計画研究所 すまいIoT推進部 RemoteLockセールsteam

TEL: 03-5342-1026 e-mail: remotelock@kke.co.jp

・報道メディア関係窓口

株式会社構造計画研究所 広報担当

TEL: 03-5342-1040 e-mail: kke-pr@kke.co.jp

【参考情報】

■ 製品キャンペーン

リリースを記念し、先着 500 個限定で以下の特別価格でご提供いたします。

購入個数	1個：【 7.8 万円 】
	2個：【 12.4 万円 】
	3個：【 17.0 万円 】

- Remote Lock 5i 本体
- 本体送料
- 本体取付工事費（標準工事）
- クラウド管理システム LockState Connect 利用料 1 年分 を含む（税抜）

※ 公式日本語サイトより、詳細資料のダウンロードやお見積もり、製品のご購入、お問い合わせを承ります。

■ 詳細情報

- 公式日本語サイト

<http://remotelock.kke.co.jp/>

- 公式 Youtube チャンネル

<https://www.youtube.com/user/KKEchannel/channels>

■ 会社情報

【LockState Inc.】（ <http://www.lockstate.com/> ）

米国コロラド州に本社を置く LockState 社は、商業用および居住用市場向けのインターネット接続型アクセス制御システムのリーディングプロバイダーです。2004 年の設立以来、Wi-Fi 接続ドアロックをはじめとした遠隔操作によるセキュリティ機器とモニタリングソリューションを提供しています。不動産所有者と管理者が、世界中のどこからでも不動産を監視し管理することを可能にします。



昨今注目を集めている Airbnb 社のほか、HomeAway 社、Ring 社、CodeLocks 社といったグローバル企業とパートナーシップを結んでいます。構造計画研究所は LockState 社に 2008 年より資本参加（現在 23%）をしています。

【株式会社構造計画研究所】（ <http://www.kke.co.jp> ）

構造計画研究所は、社会と共に創りあげていきたい未来像 (Thought) として、「Innovating for a Wise Future」を掲げております。「大学、研究機関と実業界をブリッジする Professional Design & Engineering Firm」を標榜する当社は、今後も工学知をベースにした有用な技術を活用し、社会の諸問題の解決に挑むことで、より賢慮に満ちた未来社会を創造してまいります。

※ 構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。

※ 当社では、お客様やパートナーから発表のご承認をいただいた案件のみを公表させていただいております。ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。